



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年1月31日

上場会社名 株式会社東邦システムサイエンス 上場取引所 東  
 コード番号 4333 URL <https://www.tss.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小坂 友康  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 吉田 博英 (TEL) 03 (3868) 6060  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年3月期第3四半期の業績 (2018年4月1日~2018年12月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	9,366	7.4	704	20.9	712	20.7	424	6.7
2018年3月期第3四半期	8,723	△2.4	582	△30.9	590	△30.7	398	△31.5
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2019年3月期第3四半期	35.02		—					
2018年3月期第3四半期	32.82		—					

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	9,790	6,583	67.2	542.63
2018年3月期	9,852	6,427	65.2	529.82

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 6,583百万円 2018年3月期 6,427百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2019年3月期の業績予想 (2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,300	2.6	1,000	11.6	1,006	11.3	685	12.2	56.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2019年3月期3Q	13,865,992株	2018年3月期	13,865,992株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2019年3月期3Q	1,733,730株	2018年3月期	1,733,726株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2019年3月期3Q	12,132,264株	2018年3月期3Q	12,132,266株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等について）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第3四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
3. 補足情報 .....	6
生産、受注及び販売の状況 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における日本経済は、堅調な企業収益や雇用・所得環境の改善が続くなかで、景気は緩やかな回復が続きました。

当社が属する情報サービス業界におきましては、特定サービス産業動態統計（2018年11月分確報）によると売上高は前年同月比6.0%と2ヶ月連続の増加、受注ソフトウェアのシステムインテグレーションは同5.3%の増加となりました。一方、IT技術者不足は依然として解消しておらず、システム開発要員の確保は厳しい状況が続きました。

このような環境のもと、当社は業務知識とマネジメントを含めたシステム構築力の一層の強化により、金融系分野のシステム開発を中心に既存顧客の案件拡大及び新規顧客の開拓に注力するとともに、AIやIoT等の先端技術を活用した案件の獲得を進めてまいりました。

また、第2四半期会計期間に発覚いたしました、当社の元取締役による不正行為につきましては、「不正行為再発防止対策委員会」を立ち上げ再発防止策に取り組んでおります。順次運用を開始し、再発防止策の徹底を図っているところであります。

これらの結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は9,366百万円（前年同期比7.4%増）、営業利益は704百万円（同20.9%増）、経常利益は712百万円（同20.7%増）、四半期純利益は424百万円（同6.7%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①ソフトウェア開発

当社の中心的なビジネス領域である金融系分野の売上高は7,800百万円（前年同期比4.6%増）となりました。長期大型案件の獲得に加え、既存保守領域も順調に推移した損害保険系業務は、3,467百万円（同38.3%増）、既存開発案件の受注が伸長した証券系業務は1,289百万円（同1.2%増）となりました。一方で、大型開発案件が保守フェーズへ移行した生命保険系業務は1,973百万円（同9.7%減）、大型の統合案件が終了した銀行系業務は709百万円（同38.3%減）となりました。

非金融系分野の売上高は1,326百万円（同28.1%増）となりました。基盤系保守の拡大やAIを活用した通信会社向けの開発・保守が増加した通信系業務は741百万円（同41.1%増）、保守の領域が拡大した医療・福祉系業務は262百万円（同41.0%増）となりました。

これらの結果、ソフトウェア開発の売上高は9,127百万円（同7.5%増）となりました。

#### ②情報システムサービス等

情報システムサービス等の売上高は239百万円（前年同期比3.6%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### <資産、負債及び純資産の状況>

当第3四半期会計期間末における総資産は9,790百万円となり前事業年度末に比べ61百万円減少しております。これは主として、現金及び預金が225百万円、仕掛品が108百万円増加し、売掛金が292百万円、投資有価証券が41百万円、繰延税金資産が56百万円減少したことによります。

また、負債合計は3,207百万円となり前事業年度末に比べ217百万円減少しております。これは主として、買掛金が62百万円、未払費用が48百万円、その他流動負債が56百万円、退職給付引当金が104百万円増加し、未払法人税等が181百万円、賞与引当金が163百万円、役員退職慰労引当金が138百万円減少したことによります。

純資産は6,583百万円となり前事業年度末に比べ155百万円増加しております。これは主として、四半期純利益424百万円を計上したこと、剰余金の配当により242百万円の減少があったことによります。これらの結果、自己資本比率は67.2%となり前事業年度末に比べ2.0ポイント増加しております。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2018年5月14日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,821,111	7,046,563
売掛金	1,862,639	1,569,942
仕掛品	26,610	135,126
その他	72,342	80,445
貸倒引当金	△5,584	△4,701
流動資産合計	8,777,119	8,827,376
固定資産		
有形固定資産	30,514	28,860
無形固定資産	10,281	7,198
投資その他の資産		
投資有価証券	206,390	164,394
繰延税金資産	715,711	658,748
その他	118,047	109,767
貸倒引当金	△5,650	△5,675
投資その他の資産合計	1,034,498	927,236
固定資産合計	1,075,295	963,294
資産合計	9,852,415	9,790,671
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	604,784	667,581
未払金	70,832	27,373
未払費用	123,827	172,227
未払法人税等	190,508	9,486
賞与引当金	344,042	180,835
受注損失引当金	14,120	50,160
その他	112,731	169,435
流動負債合計	1,460,847	1,277,099
固定負債		
退職給付引当金	1,773,676	1,878,226
役員退職慰労引当金	190,002	51,976
固定負債合計	1,963,678	1,930,202
負債合計	3,424,525	3,207,302
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	526,584	526,584
資本剰余金	531,902	531,902
利益剰余金	5,826,249	6,008,473
自己株式	△545,581	△545,585
株主資本合計	6,339,153	6,521,374
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	88,736	61,994
評価・換算差額等合計	88,736	61,994
純資産合計	6,427,889	6,583,369
負債純資産合計	9,852,415	9,790,671

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	8,723,755	9,366,836
売上原価	7,252,754	7,759,582
売上総利益	1,471,000	1,607,254
販売費及び一般管理費	888,399	902,831
営業利益	582,601	704,422
営業外収益		
受取配当金	3,579	3,767
保険事務手数料	736	716
貸倒引当金戻入額	785	883
保険配当金	1,585	1,689
投資有価証券売却益	—	536
その他	1,629	948
営業外収益合計	8,316	8,540
営業外費用		
支払利息	17	—
営業外費用合計	17	—
経常利益	590,899	712,963
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	—	784
特別損失合計	—	784
税引前四半期純利益	590,899	712,179
法人税、住民税及び事業税	176,521	156,669
過年度法人税等	—	61,886
法人税等調整額	16,181	68,752
法人税等合計	192,702	287,309
四半期純利益	398,197	424,869

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## 生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当第3四半期累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (千円)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア開発	9,238,433	105.9
情報システムサービス等	239,338	103.6
合計	9,477,772	105.8

- (注) 1 金額は販売価格によっております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注実績

当第3四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア開発	9,420,782	109.8	2,029,527	112.5
情報システムサービス等	247,351	106.1	75,000	113.5
合計	9,668,134	109.7	2,104,527	112.6

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (3) 販売実績

当第3四半期累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア開発	9,127,498	107.5
情報システムサービス等	239,338	103.6
合計	9,366,836	107.4

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
2 当第3四半期累計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
株式会社野村総合研究所	1,965,437	22.5	2,485,329	26.5
S C S K株式会社	1,009,023	11.6	1,069,661	11.4

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。